Japan Business Association of Houston

Gulf Stream

1880 S. Dairy Ashford Road, Suite 170 Houston, TX 77077 TEL: (281) 493-1512

Volume 52 No.1
October 2026

www.jbahouston.org

JBAH

ヒューストン日本商工会 2026-2027年度 新会長就任挨拶

浅野 健一

Mitsui & Co.(U.S.A.), Inc.



遠藤前会長を引き継ぎ、10月よりヒューストン日本商工会（JBAH）会長を務めさせていただきます米国三井物産の浅野です。まずは、遠藤前会長のこれまでのご尽力とご貢献に、心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、私は、2024年5月に2度目のヒューストン駐在を開始し、早いもので2年半が経ちました。実は昔から自他ともに認める“大のヒューストン好き”でして、今回の赴任が決まった際には、「ヒューストンと相思相愛！」とガッツポーズをしたほどです。大らかで開放的な街の雰囲気、蒸し暑く灼熱の気候、スポーツやテックスメックスの食文化も含め、そのすべてを満喫しております。何より、当地の皆さまの明るさと温かさにはいつも元気をいただいております。そんな素晴らしいヒューストンをさらに元気にすべく、これから1年間、会長として商工会活動の一層の充実に努めてまいります。

近年のヒューストンは、エネルギー産業の変革に加え、医療、宇宙、データセンター、テクノロジー分野での成長にも勢いが増し、全米でも屈指のダイナミズムを誇る都市となっています。州外・国外からの企業進出や人口流入も加速しており、当地の活気を日々実感しております。皆さまにおかれましても、来客や出張者が増え、嬉しい悲鳴を上げておられるのではないでしょうか。

商工会の会員数も、正団体会員120社（この10年で2割増）・正個人会員1,112名（同7割増）と過去最高の水準に達しています。これは会員企業の皆さまによる積極的な事業展開の表れであり、当地における日系企業の存在感が一層高まっていることを示しているものと思います。また、当会は会員企業同士の交流や日本文化への理解促進にも取り組んでいます。私たちも当地の多様性と活力から学び、ともに成長していくことが大切だと考えております。

こうした環境のもと、「パートナーシップ」「フレンドシップ」「次世代のために」という当会の三つの活動ミッションの実現に向け、会員の皆さまのご発展に少しでも貢献できるよう取り組んでまいります。また、会員ならびにご家族の皆さまが安心して充実した生活を送り、次世代を担う子どもたちが日本語や日本文化とのつながりを大切にしながら成長できる環境づくりも重要な使命です。総領事館からのご支援をいただくとともに、関係団体とも連携しながら、日系企業・日本人コミュニティと地域社会とのつながりをさらに深めてまいりたいと思います。

改めまして、皆さまのご協力とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8年10月1日

目次

1 …新会長挨拶
2~3…新役員挨拶
3 …特命理事・常設委員長紹介
4~5…理事委員記事
6 …会社紹介・議事録
7 …テキサス会ゴルフ
8 …三水会クラブ報告
9 …生活情報委員会報告
10~13…ソフトボール交流戦
14 …ヒューストン日記・図書館便り
15~16…テキサスメディカル
17 …AADA
18 …知っとん、お助け、あそぼーかい
19 …Houston Walker & 編集後記



第一副会長

六者交流会＜主＞

赤間 悟

Daikin Confort Technology
North America, Inc

昨年度はジャパンフェスティバルの主幹事として、会員企業の皆様や多くのボランティアのご支援のもと、日本文化の魅力を広く発信する貴重な機会に恵まれました。その経験を通じて、人と人とのつながりの大切さを改めて実感しております。今後は第一副会長として、会員企業相互の交流促進と商工会活動のさらなる発展に尽力し、ヒューストン日本人社会および日米コミュニティの発展に貢献してまいります。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



副会長/JF委員長

ジャパンフェスティバル＜主＞

津久井 隆雄

Mitsubishi Heavy Industries
America, Inc

副会長及びジャパンフェスティバル委員長を拝命いたしました、津久井隆雄でございます。2026年4月に米国三菱重工業に着任しました。ヒューストンはエネルギー産業の中心地であると同時に、多様な文化が共存する魅力あふれる都市です。ジャパンフェスティバルを通じて日本文化の魅力を発信し、会員の皆さまや地域の皆さまとの交流の輪を広げていけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長/文化委員長

ピクニック＜主＞

小林 秀司

Mitsubishi Corporation
(Americas)

このたび副会長・文化委員長（ピクニック主担当）を務めることになりました、北米三菱商事の小林です。今年4月にヒューストンへ赴任してまいりました。米国勤務の経験はありますが、ヒューストン生活は今回が初めてで、毎日新たな発見があります。休日はゴルフやプロスポーツ観戦を楽しみながら地域の魅力を探索中で、Buc-ee'sの広さとビーフジャーキーの品揃えには今でも驚かされます。浅野会長をはじめ役員の皆さまと力を合わせ、商工会活動や春のピクニックを通じて地域コミュニティの発展に貢献してまいります。



副会長

ピクニック＜副＞

遠藤 宏治

Sumitomo Corporation
of Americas

昨年度は商工会会長として活動させていただき、会員の皆様から多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。今期は副会長として、また恒例のピクニックでは副幹事を務めさせていただきます。主幹事の小林副会長と力を合わせ、皆様とご家族に楽しんでいただける行事となるよう準備を進めてまいります。当日はぜひ青空に頑張ってもらいたいものですね。引き続き商工会活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



副会長

ソフトボール委員長

吉森 康陽

ENEOS Americas Inc.

副会長およびソフトボール委員長を拝命いたしましたENEOSアメリカの吉森でございます。昨年7月にヒューストンに参りました。

昨年度は残念ながら雨天中止となってしまったソフトボール大会ですが、皆様の熱い思い・ご期待に応えるべく、2年ぶりの開催を大いに盛り上げてまいりたいと思っております。

今後も商工会活動のますますの発展に尽力してまいりますので、皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



幹事

佐藤 友洋

Mizuho Bank, Ltd.

皆さま、はじめまして。今年度より幹事を務めさせていただくことになりました、佐藤と申します。2026年4月にシンガポールからヒューストンへ赴任してまいりました。赴任間もない私ども家族ですが、早速商工会には大変お世話になっており、温かいヒューストンコミュニティに迎えていただいていることを大変ありがたく感じております。微力ながら商工会活動に貢献していければと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



会計幹事

庄賀 典子

Emst & Young LLP

このたび、会計幹事を拝命いたしました、EYの庄賀と申します。

ヒューストンには長く在住しておりますが、商工会の役員を務めるのは今年が初めてとなります。商工会活動を通じて、より多くの皆様と交流させていただくとともに、少しでもコミュニティへの恩返しができればと考えております。

休暇中は、キャンプやハイキングなど、自然の中で過ごすことを楽しみ、全米各地の国立公園や州立公園を訪れることが私のリフレッシュ方法です。

微力ながら商工会の活動や運営に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新特命理事・常設委員長紹介

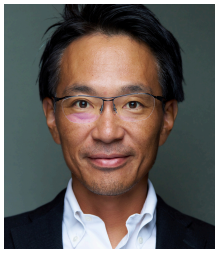
JASH担当の特命理事とJF・文化・ソフトボール各委員長は副会長が兼務しています。



特命理事
他団体対応・
日本庭園

坂本 滋

All Nippon Airways Co., Ltd



特命理事
安全・危機管理/
広報副委員長

國貞 直行

Marubeni America Corporation



特命理事
ジャパン
フェスティバル<副>

不破 玲子

Kuraray America, Inc.



特命理事
ジャパン
フェスティバル<副>

七條 勝利

Keneka Americas Holding, Inc



広報委員長
ガルフストリーム

伊藤 義治

Japan Organization for Metal and Energy Security (JOGMEC)



企画・調査委員長
講演会

島田 英樹

Japan External Trade Organization Houston (JETRO)



ゴルフ委員長
テキサス会ゴルフ

生田 哲士

Osaka Gas USA Corporation



教育委員長
補習校運営委員長

田中 紀行

Mitsui & Co. (U.S.A.), inc



生活・情報委員長
ピーカン活動/古本市

神代 孝通

The Baldwin Group

日本のエネルギーを支える二つの街
― ヒューストン、パース ―

東京ガスアメリカ社　藤井 英一郎

今月の理事記事委員

1.「二つの赴任地、実は日本の暮らしを支えている」

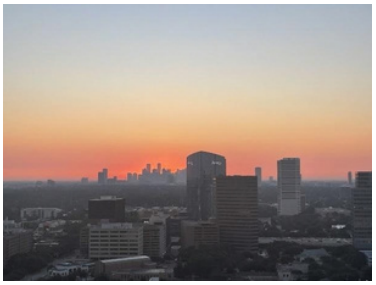
昨年3月まで約3年間、豪州パースで勤務し、同年4月からヒューストンでエネルギー事業に携わっています。一見すると、海辺の穏やかな豪州西部の都市と巨大なアメリカ南部の都市。共通点は少ないように思えますが、実はどちらも日本のエネルギーを支える世界有数の都市です。海外で暮らすことで、日本では意識しなかった「エネルギーが届くまでの道のり」を実感するようになりました。



◀パース景観①

▼パース景観②





◀ヒューストン景観①

▼ヒューストン景観②



2.「米国と豪州は日本にとってどんな存在か」

日本は天然ガス資源に恵まれていないため、LNGのほぼすべてを海外から輸入しています。その中でも豪州は日本向け約4割を占める最大の供給国であり、近年は米国も第2位の供給国として存在感を急速に高めています。つまり、日本の家庭で使われる都市ガスや発電用燃料は、豪州と米国という二つの国に大きく支えられています。豪州では大規模ガス田から生産された天然ガスがLNG（液化天然ガス）に形を変え、日本へ運ばれます。一方、わずか10年前までLNG輸出国ではなかった米国は、シェール革命を背景に現在では世界シェア約25%、最大級のLNG輸出国となっています。またヒューストン周辺には天然ガスの生産地だけでなく、世界最大級のLNG輸出基地群が集積しています。テキサス州は、米国天然ガス生産量約25～30％を占める最大の産地でもあり、「世界のエネルギー基地」と呼ばれる理由を日々実感しています。

3.「エネルギー都市ヒューストンとパースの違い」

両都市ともに、街の中心にあるビル群は、エネルギー企業のロゴで彩られ、エネルギー都市であることを強く意識させる街です。パースは、1980年代後半から徐々にエネルギーや鉄鉱石などの鉱物を中心に、緩やかに発展し、豊かな自然と都市の景観が見事に調和し、穏やかで安定した気候も相まって、高いレベルでのワークライフバランスを実現できる街に変化を遂げてきています。一方、ヒューストンは1960年代から発展し、世界中のエネルギー企業が本社や主要拠点を構え、エネルギーに関わるあらゆる機能が集積しています。現在では医療、宇宙、化学等のさまざまな産業が集積し、単に石油や天然ガスを生産する街ではありません。ここで生まれた一つの投資判断や技術革新が、世界のエネルギー市場に影響を与えることも少なくありません。そのダイナミズムこそが、私が日々ヒューストンで最も強く感じている魅力です。このように同じエネルギー都市でも、街が違えば仕事の進め方も文化も全く異なるということができます。



シェールガス開発現場▶

4.「世界情勢が変えた天然ガス市場」

2022年のロシアによるウクライナ侵攻は、世界の天然ガス市場を一変させました。ロシア産ガスに依存していた欧州は調達先を大きく変更し、その結果、米国産LNGへの需要が急増しました。ヒューストンでは、新たなLNG輸出基地の建設や関連投資が相次ぎ、エネルギー産業の活気をより強く感じるようになりました。さらに今年はホルムズ海峡を巡る中東情勢への懸念も高まり、エネルギー安全保障への関心は一段と高まり、今後世界のエネルギー需要／供給メカニズムは大きく変化することが予想されます。こうした中、メキシコ湾岸に数多くのLNG輸出基地を持つテキサスは、世界の天然ガス供給を支える存在として重要性を増しています。世界で起きる出来事が、ヒューストンの日常にも直接影響を与えていることを肌で感じています。

▼Cove Point LNG基地 （弊社出資）





Cove Point基地に着岸するLNG船 (弊社保有船)▲

5.「東京ガスアメリカの役割」

東京ガスグループは現在、北米で天然ガス開発、LNG、発電、再生可能エネルギー、トレーディングなど幅広い事業を展開しています。東京ガスアメリカも、シェールガス事業会社TGナチュラルリソーシズへの出資やLNG関連事業などを通じ、日本のエネルギー安定供給を支えています。米国は現在、日本のLNG輸入先として豪州と並ぶ最も重要な国の一つとなりました。現地で事業に携わることは、日本のエネルギー安全保障にもつながっていると感じています。



▲レイクチャールズ



▲フリーポート

6.「おわりに」

ヒューストンとパース。街も文化も大きく異なりますが、どちらも日本の暮らしを支える大切な役割を担っています。海外で働くようになり、エネルギーは単なる商品ではなく、人と国を結び、暮らしを支える社会基盤であることを改めて実感しています。これからもヒューストンの地から、日本と世界をつなぐ架け橋となれるよう取り組んでいきたいと思います。

MEET OUR NEW MEMBERS!

会社紹介

DEI Green Investment Co.

正会員　山口龍太朗さん



会社の業務内容について

DEI Green Investment Co.は大和証券グループ傘下の大和エナジーインフラ株式会社米国法人として設立され、主に米国内における再生可能エネルギープロジェクトへの投資を実行しています。テキサス州内をはじめ、オハイオ州、ニューメキシコ州、フロリダ州などに投資実績があり、太陽光・陸上風力・蓄電池等のプロジェクトに金融投資家として事業参画しています。2022年頃から順次投資を拡大してきましたが、この度、2026年5月に私が着任し、現地の有人拠点としての活動をスタートしました。AIデータセンターを中心に、電力需要の急激な増加が見込まれる米国において、社会インフラとなる再生可能エネルギー事業の拡大に寄与していきたいと考えております。

ヒューストン／テキサス州の印象

着任前より、年に4~5回はテキサス州に出張してきましたが、毎回、そのスケールの大きさに感銘を受けていました。テキサス州の北西部を訪問した際に、果てしなく続く地平線に陸上風力の風車が並ぶ光景を見たときは圧巻の一言でした。その中でも、ヒューストンは多様な文化が共存する、ダイバーシティに富んだ街だと思います。日本食レストランやスーパーもあるので、家族での生活にもほとんど不便がありません。暖かい気候に加えて、オープンマインドで陽気な人柄の方も多く、前向きな気持ちで過ごすことができる場所だと日々感じています。

個人的な関心事（趣味等）

個人的には社会人歴で2度目の米国駐在となります。前回は単身赴任でしたが、今回は家族帯同での駐在。子供と妻にとっては初めての海外生活となり、不安もありましたが、W杯観戦やBTSのコンサートなど、米国ならではのイベントを満喫しながら、皆すっかりヒューストンでの生活にも慣れてきました。

個人的には、スポーツ観戦や音楽ライブ、旅行や食事が好きなので、この機会に家族とたくさんの思い出を作っていきたいと考えています。一方で、ヒューストンでは通勤やお出掛けで歩くことがほぼ無くなり、運動不足が深刻に……。なるべく毎日ジムに行き、週末は娘とボルダリングに挑戦しています。

令和7年度（2025-2026）9月 商工会常任委員会議事録

日　　時：2026年9月16日(水) 12:15-13:30
会　　場：三水会センター会議室
出 席 者：15名（名誉会長代理１名、理事委員12名、理事委員代理1名
　　オブザーバー1名）
司　　会：東　遼佑　幹事

※詳細については商工会の「会員専用ページ」をご参照ください。



よみきかせ

10/20（火）10：30~



お申し込みは商工会HPから

第584回

テキサス会ゴルフトーナメント「ユナイテッド航空杯」

GOLF TOURNAMENT



第584回テキサス会ゴルフトーナメントは「ユナイテッド航空杯」として、Wind Rose Golf Clubで9月20日（日）に開催されました。日中は気温が30℃を超える暑い日となりましたが、総勢54名が午前8時よりショットガンスタートで競技を開始し、全員無事にホールアウトいたしました。



ユナイテッド航空
濱本ワールドワイドセールスキー
アカウントマネージャーよりご挨拶



特別賞
杉原 佑弥 さん

世界どこでも行ける
ユナイテッド航空ペアチケット

優勝に輝いた
鈴木 隆弘 さん



今回は「ユナイテッド航空杯」として開催され、ユナイテッド航空マネージャーの濱本さんにも、表彰式にご臨席いただき、賞品の授与ならびに閉会のご挨拶を賜りました。

ベストグロスの部では、男性一般の部で藤原 弘樹さんが76、男性シニアの部で武智 真二さんが86、女性の部で梶浦 礼加さんが95を記録し、それぞれ見事に受賞されました。また、第584回テキサス会ゴルフトーナメントの優勝には、鈴木 隆弘さん（グロス97、ネット71）が輝きました。誠におめでとうございました！

濱本さんより、IAHターミナルBに最大級のラウンジ（5,000m²）が近々オープンすることや、成田線への新しいシートの導入、機内食に力を入れていくことなど、ユナイテッド航空の近況をご紹介いただきました。また、今回は冠企業として素敵な特別賞もご提供いただき、ありがとうございました。

今回は22の企業・団体・個人の皆さまより、多大なるご寄付を賜りました。普段、仕事で関わる機会のない方々と一緒にゴルフを通じて交流できることは大変貴重な機会です。この場をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

次回のテキサス会ゴルフトーナメントも、日本人コミュニティ関係者の方はどなたでも参加可能ですので、皆さまのご参加をぜひお待ちしております。引き続きテキサス会をよろしくお願いいたします！

（第584回テキサス会幹事会社： JERA Americas/Iwatani Corporation/Kureha America）

茨木えり先生の



ウェルネス Welness セミナー Seminer

三水会クラブ

2026年8月26日（水）に、三水会会議室にて、Summer Break後初の三水会クラブが開催されました。今回ゲスト講師としてお招きいただきました、医師・トータルウェルネスアドバイザーの茨木えりです。

この日は、「海外生活、ちゃんと自分を大切にできていますか？〜医師と一緒に整える 心と体のウェルネス習慣〜」をテーマにお話しいたしました。慣れない環境や言葉の壁などにより、海外生活では心身の不調が起こりやすいこと、その対策として体を動かすことが大切であることを解説。また、日常生活に運動を少しずつ取り入れるなど、無理なく続けられる習慣づくりのコツも紹介しました。



みんなで運動



スクワットは大きな筋肉を動かすので効果的

講演の中では、自宅で気軽にできるストレッチや筋力トレーニングを全員で実践。笑顔で声を掛けながら体を動かし、じんわりと汗をかく心地よい時間となりました。

運動後は、テーブルを囲んで楽しくおしゃべり。会話と笑いが絶えず、心もすっかりリフレッシュしました。気づけば次の会議の時間となり、会議室を退出するよう声をかけられるほど（笑）、あっという間の充実したひとときとなりました。



ご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

生活情報委員会からのご報告

お助けマップ　三水会クラブ　ショーイングジャパン　読み聞かせ　あそぼーかい

8月28日（金）、三水会センターにて生活情報委員会合同会議を開催いたしました。当日は、5つのグループから20名が参加し、それぞれのグループから1年間の活動報告や、来年度に向けた取り組みについて発表がありました。日頃の活動を振り返りながら、各グループの取り組みや工夫を共有し、和やかな雰囲気の中で意見交換を行いました。参加者同士の交流も深まり、今後の活動につながる有意義なひとときとなりました。

普段はそれぞれのグループで活動しているボランティアの方々が、一堂に会する機会はなかなかありません。今回は、顔を合わせて話をしたり、お互いの活動について知ったりすることができる、貴重な交流の場となりました。

それぞれの活動への理解を深めるとともに、ボランティア同士のつながりもより一層深まったように感じられます。今回の出会いや情報交換を今後の活動に生かし、これからも地域の皆さんと力を合わせながら、活動の輪がますます広がっていくように、商工会事務局もサポートします。



▲根本委員長による開会のあいさつ

「皆さんに楽しんでいただくことはもちろんですが、私たち自身も活動を楽しんでいます」と、どのリーダーの方も笑顔で話されていたことが、とても印象に残りました。

新しいことを始めてみたい方、お友だちを作りたい方、地域の皆さんと楽しく交流したい方など、ボランティアに興味のある方を大歓迎します。

「ちょっと参加してみようかな」という気持ちからでも大丈夫です。ぜひお気軽に商工会事務局、または三水会図書カウンターまでお問合せください。

＜ヒューストン日本商工会　事務局＞



お助けマップ



あそぼーかい



ショーイングジャパン



読み聞かせ＆三水会クラブ

2026年 小・中・高校生ソフトボールダラス交流戦 in Dallas

WBCとWorld Cupの熱狂冷めやらぬ中、ヒューストンとダラスの補習校生の間で繰り広げられるソフトボールの交流戦（通称「ダラス戦」）の第35回大会が9月6日（日）にダラスにて開催された。気温35℃を超える厳しい暑さの中、両校の子どもたちは日頃の練習成果を存分に発揮し、各試合で白熱した熱戦を繰り広げた。本稿では、大観衆の前で真剣勝負に挑み、大きく成長した子どもたちの活躍を紹介したい。

小学生の部



▲小学部 選手集合写真

＜低学年MixB＞

1・2年生によるこの日の第1試合。初戦ということもあり、序盤は緊張からか思うように打球が前へ飛ばず、ダラスの堅い守備にも阻まれてリードを許した。しかし中盤以降は徐々に本来の打撃を取り戻し、最終回には1点差まで追い上げる粘りを見せる。8対9であと一歩及ばず敗戦となったものの、最後まで諦めない姿勢は来年への大きな期待を感じさせた。



＜低学年MixA＞

2・3年生を中心としたチーム。自慢の打線が初回からつながりリードを奪うと、守備でも練習を重ねてきた二塁・三塁・本塁でのフォースアウトを何度も成功させて流れを引き寄せる。しかしダラスもくらいついてきて後半は乱打戦となり最終回には2点差まで迫られる場面もあったが、最後まで仲間同士で声を掛け合いながら集中力を切らさずに強く戦い抜き、13対11でヒューストンに大会初勝利をもたらした。チーム一丸となってつかみ取った価値ある勝利で、子供達の輝く笑顔が印象的であった。









2026年 小・中・高校生ソフトボールダラス交流戦 in Dallas

＜中学年MixB＞

3・4年生を中心とした将来の主力候補同士による一戦。序盤は互角の展開となったが、鋭い当たりが何度も相手の好守に阻まれ、中盤にリードを許す苦しい展開となった。最後まで懸命に食らいついたものの、8対15で惜敗。しかし随所に好プレーが見られ、来年以降の飛躍を期待させる内容だった。



＜中学年MixA＞

ヒューストンは3・4年生男子と4〜〜6年生女子による混成チーム。一方のダラスは5・6年生女子中心のチームで、昨年は大差で敗れた強豪である。
序盤に長短打で先行したヒューストンだったが、中盤は相手の堅守と強力打線に苦しめられ、4回には逆転を許す。さらに真昼の酷暑の中、足をつる選手や負傷による交代選手が出るなど厳しい状況に追い込まれた。

それでも途中出場の選手たちが懸命に役割を果たし、チームは再び勢いを取り戻す。5回に打線がつながって再逆転に成功すると、その後はセカンドライナーからのダブルプレーなど好守も飛び出し、9対7で逃げ切った。先発・控えを問わず全員でつかみ取った大金星だった。



＜男子B＞

男子Bは小5〜6年生男子が主対象となる2試合のうちの1試合。選手数が少ないヒューストンチームは、メンバーこそ男子Aとほぼ同じだが、小学5年生の6人を主要な守備位置につけ、強豪ダラスにどこまで食らいつけるか、という布陣で臨んだ。

初回からダラスの攻撃でいきなりホームランを含む5失点の厳しい立ち上がりとなったが、2回表にヒューストンの中軸打線が反撃のきっかけをつくると、そこから打線がつながり、一気に同点へ。その後中盤にかけて両チームとも堅い守備を見せ、テンポの速い、緊張感のある展開が続いた。そして5回表、ヒューストンが長打を交えた猛攻を見せ、一挙5得点。これで抜け出したかと思ったが、ダラスも5点を取り返し、再び振り出しに。それでも、選手たちは気持ちを切らさなかった。6回、7回。積極的な走塁で少しずつ得点を重ねる一方、守備では声を掛け合い、一つ一つのアウトを積み重ねていき、7回裏の最後のアウトを取るまで集中を切らさず、ヒューストンが接戦を制した。



＜男子A＞

男子Aは30分の休憩を挟んで続けて行われた。ダラスは少年野球チームで活躍する精鋭が揃う強豪チーム。対するヒューストンの選手たちは、本試合までに既に1〜〜2試合を戦い抜いており、体力的にも厳しい状況での挑戦となった。最後まで懸命に食らいついたものの、相手の高いレベルの守備力と打力の前に主導権を握ることができず敗戦。

男子Bで味わった勝利の喜びと、男子Aで感じた敗戦の悔しさ。その両方が選手たちをさらに成長させてくれるだろう。

2026年 小・中・高校生ソフトボールダラス交流戦 in Dallas

＜総括＞

今年のダラスチームは例年以上に戦力が充実しており、昨年の対戦成績（1勝6敗）を踏まえると大苦戦も予想された。しかしヒューストンの選手たちは期待を上回る力を発揮し、最終的に3勝3敗という見事な成績を収めた。

特に中学年Mix A及び福田副監督・山川コーチが率いた男子Bでは強豪を相手に大接戦の末の見事な勝利。全員が打ち、全員が守り、声を掛け合いながら最後まで前を向いた。苦しい場面でも仲間を支え、最後まで戦い続け、一人ひとりのプレーがつながった、まさにチームの力による勝利だった。

結果だけでなく試合内容も非常に充実しており、選手たちは夏の練習の成果を存分に発揮して、6試合中4試合が最終回までもつれる接戦となった。選手たちは夏の厳しい練習を通じて培った力を存分に発揮し、勝利の喜びだけでなく「目標に向かって努力することの大切さ」や「真剣勝負の中で練習の成果を発揮することの喜び」を学んでくれたと思う。この経験が、子どもたちにとって今後の成長につながる貴重な財産となれば、指導者としてこれ以上の喜びはない。

＜結び＞

私自身、一年以内に帰任の予定があることから、本大会をもって小学生チーム監督を退任することとなった。この場をお借りして、日頃よりご支援いただいた補習校およびヒューストン日本商工会関係者の皆様に心より感謝申し上げたい。

また、毎週の練習運営や大会開催にあたり、多大なるご協力をいただいた運営委員、保護者の皆様にも厚く御礼申し上げる。今後も後任の監督・コーチ陣への変わらぬご支援をお願いするとともに、来年のダラス戦（猛暑を避けて10月または11月に開催予定）が今年以上に実り多い交流の場となることを願っている。

この記事をきっかけに補習校ソフトボール活動に興味を持っていただけた方は、ぜひ土曜日の補習校終了後にグラウンドへ足を運んで頂きたい。子どもたちの元気な声と真剣なプレーが、皆様をお待ちしている。

<小学生チーム監督 津島 博紀>













中高生の部

＜中高女子＞

ヒューストンは、中1（1人）、中2（6人）、中3（1人）、高2（1人）で、ソフトボール経験約1年の新生チームながら、高校生6人と大学生1人を擁するダラスチームを相手に8ー5と善戦した。4回までは8ー0と大差をつけられたが、集中力を切らさずにチャンスを作り、5回と6回で5点を取り返した。最後まであきらめず、味方を応援し続ける姿も印象的だった。味方のエラーのカバーや走塁ミスの防止を意識して練習してきた成果が、ピンチを防ぎ、チャンスにつながったと思われる。試合後も、選手たちは自主的に改善点を模索し、男子チームを応援し、ダラスチームとも積極的に交流するなど、チームとしても充実した思い出に残る大会となった。



＜中高生C＞

体格で勝るダラスチームに、ヒューストンは中学女子3名、小6男子2名を含む中学生主体のメンバーで挑んだ。初回から猛攻で満塁のチャンスを作り、一挙3点を先制。ダラスにじわじわ追い上げられるも、抜ければ本塁打級のレフトへの大飛球を咲衣のファインプレーで阻止した。全員が好プレーを見せ、4対4の引き分けに持ち込み、幸先の良いスタートを切った。



＜中高生B＞

龍一が4度出塁し、湊（中1）もヒットで出塁したが、なかなか得点につながらなかった。一方、遥希はレフトからのレーザービームで本塁アウトを奪うなど、守備で粘りを見せた。接戦だったが、4回に4失点して惜しくも1対5で敗戦。ほぼ互角の戦いだっただけに悔やまれる。



＜中高生A＞

優斗の鮮やかなヒットで始まり、初回から5安打で3点を先制。その裏には、長打コースの大飛球をレフト郁理がスーパーキャッチし、反撃を阻止した。3回には連打の後、心葉の犠牲フライで貴重な追加点を挙げて主導権を握り、その後も着実に加点。守備ではキャッチャー颯真の審判をよけながらの好プレーも飛び出し、絆斗も安定した投球で4点に抑えた。全員が攻守で持ち味を発揮し、最後は主将遼大のジャンピングキャッチで締めくくり、14対4の快勝を収めた。



<中高生チーム監督　桑畑 充>

子どもたちを見守りながら 日々を楽しみたい

第264回
ヒューストン日記
川西めぐみさん

早いもので、ヒューストンでの生活も2年目に入りました。夫の駐在が決まったのは、長男が中学1年生、長女が小学1年生の時。息子の年齢を考えると家族で帯同するかをとても悩みましたが、最終的に行くと決断した息子には、想像もできない葛藤があったと思います。

息子は1年目、ミドルスクールでの生活にようやく慣れたと思ったら卒業し、この夏からハイスクールに入りました。

日本の高校とは大きく違い、この年齢から授業を自分で選択するというスタイルです。大人の目線では、こんなに早い段階から自分の将来を考え、未来にはいろんな選択肢があることを知ることができるなんて羨ましく思いますが、子どもにとってはそんなに簡単な話ではありません。ましてや、それを英語で勉強していくのですから、本当によく頑張っているなと、頭が下がります。



娘はというと、現地校が気に入った様子です。なぜなら授業中にお菓子をもらい、たくさん褒めてもらえるから！今でも英語での意思疎通はまだまだ難しいようですが、ありがたいことに毎日楽しく学校に通っています。

先日の一時帰国では、可愛いピアスをつけた女性を見かけた娘がこそっと「アメリカなら“可愛いピアスですね”と話しかけるのにね。」と一言。1年で何も変わっていないように見えて、しっかりアメリカの素敵な文化を吸収している娘に思わず驚かされました。

引っ越しの多い我が家ですが、以前の駐在先で出会った同級生とここヒューストンで再会できたことも嬉しいサプライズでした。思いがけない再会に、世界はつながっているんだなと感じました。

行く先々で悩みながらも何とか適応していこうとする力は、きっと将来、子どもたちにとって大きな力になると信じています。これからどんな経験が待っているのか、子どもたちの成長を見守りながら、私自身も楽しんで日々を過ごしていきたいと思います。

図書館便り
図書館スタッフより

「もっとたくさんの人にこの本を読んでほしい！」
そんな思いを帯に込めて



オビライター
大募集中

補習校4年生の梶原さんが、大人気シリーズ『時間割男子①』の帯を書いてくれました。どうもありがとう！

「自分も本の帯を書いてみたい」という方は、図書館カウンターまでお気軽にお問合せください。



連載

テキサスメディカルセンター 最前線

このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場いただき、健康と医療についてお話頂きます。



今月号は辻守哉先生から先天性心臓外科がご専門の林秀憲先生にバトンが移りました。

第261回
「100人に1人の小さな心臓を支える総合力」

Texas Children's Hospital, Congenital Heart Surgery,
Clinical Instructor 林　秀憲



みなさま、こんにちは。林秀憲と申します。私は日本で12年間医師として勤務し、シカゴ大学で2年間研究に従事した後、2023年10月よりTexas Children's Hospital（TCH）で先天性心臓外科のクリニカルインストラクターとして勤務しています。

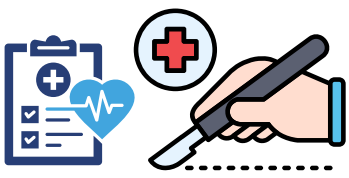
100人に1人が持って生まれる心臓病

「先天性心臓外科」と聞くと、遠い世界のように感じられるかもしれません。しかし、先天性心疾患は出生する赤ちゃんのおよそ1%、つまり100人に1人にみられ、先天異常の中でも最も多いものの一つです。その約4人に1人は生後1年以内に手術やカテーテル治療を必要とします。診断のきっかけは、赤ちゃんの手や足にセンサーをつけて測定する酸素の値、唇の紫色、哺乳不良、体重増加不良、呼吸の速さ、多汗などです。一度の手術で治療が一区切りとなる病気もあれば、成長に合わせて二度、三度と段階的な手術を必要とする病気もあります。過去数十年の外科治療や集中治療の進歩により、米国では先天性心疾患を持って生まれた赤ちゃん全体の90%以上が成人まで生存できる時代になりました。ただし、これは軽症例も含めた全体の数字であり、重症例では今も複数回の手術や長期治療を必要とし、救命が難しいこともあります。現在では、成人した先天性心疾患患者さんの進学、就職、結婚、出産など、その人の一生を見据える医療が求められています。

先天性心臓外科で難しいのはタイミングと個別性

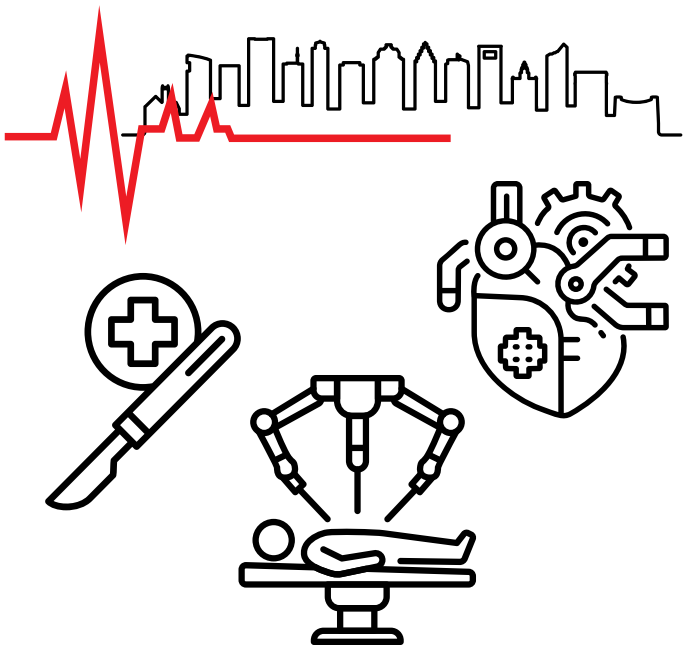
成人の心臓外科では、診断がつけば比較的早く手術をすることが多いのに対し、小児では必ずしも見つかったらすぐ手術とは限りません。新生児は心臓だけでなく全身の臓器がまだ未熟なため、状態が許せば、あえて待つ方がよい場合があります。また、幼少期に入れた人工物が将来相対的に小さくなり、再手術が必要になることがあるため、可能であれば、成長するまで人工物の使用を待つことがあります。遅すぎると心臓や肺に回復できない負担を残すこともあり、そのタイミングをチームで慎重に判断します。私はシカゴ大学で、生体内で分解され自己組織に置き換わる「成長する人工血管」の研究に携わり、将来、再手術の負担を減らす技術になると期待しています。

先天性心臓外科の別の難しさとして、同じ病名でも、心臓や血管の形、肺の状態、治療歴が一人ひとり異なることが挙げられます。そのため、検査結果や全身状態をもとに、その子に合わせた戦略を考える必要があります。成人の心疾患ではカテーテル治療が大きく発展する一方、先天性心疾患では現在も手術が治療の中心であり、外科医の判断と卓越した職人技が欠かせません。また、循環器内科医、集中治療医、麻酔科医、人工心肺技師、看護師など、多職種の関与も良好な成績には不可欠です。米国では特に多職種連携が徹底しており、医療の成績は個人技ではなく「総合力」で決まるということを学びました。



心臓外科の街、ヒューストン

ヒューストンの心臓外科を語るうえで欠かせないのが、Michael E. DeBakey先生とDenton A. Cooley先生です。二人は人工血管、人工心臓、補助人工心臓（Ventricular Assist Device： VAD）、心臓移植などを切り拓いた巨匠であり、人工心臓をめぐる有名な確執でも知られています。こうした競争と情熱が、ヒューストンを心臓外科の中心地へ押し上げたのかもしれません。U.S. News Best Children's Hospitals RankingでTCHは長年にわたり全米トップクラスの評価を受けており、日本では先天性心疾患手術が1施設あたり年間平均50〜60例程度であるのに対し、TCHでは年間1,100例程度行われています。ここには最新の医療機器と十分な人員体制があり、複雑な再手術やVAD・心臓移植を必要とする患者さんが国内外から紹介されます。



心臓移植はゴールではない

日本では2025年度、成人を含む心臓移植全体で126例が行われました。小児に限るとドナー数や制度面の問題もあり、年間10例前後です。一方、米国では小児だけで年間約500例の心臓移植が行われています。そのため、米国へ渡航して移植を受けた日本人の子どもたちもいます。米国で診療していると、日本であれば救命が難しかったかもしれない患者さんがVADや心臓移植によって助かっている場面を目にし、医療制度や社会全体の仕組みが患者さんの命に直結することを強く感じます。しかし、移植を受ければ、その後は一生安泰というわけではありません。国際レジストリでは、小児心臓移植後の生存期間の中央値は、移植時年齢により約13〜22年と報告されています。患者さんによっては、拒絶反応や冠動脈病変などにより移植した心臓の機能が低下し、VADや再移植が必要になることもあります。TCHでは、VADと心臓移植のいずれにおいても症例数が非常に多く、世界的にも高水準の成績を収めており、日々非常に多くのことを学んでいます。

ヒューストンで得た次の一歩

日本では少子化に伴って先天性心臓手術の件数が減少し、外科医だけでなく、チーム全体の経験と技術をどう維持するかが課題になっています。今後は症例の集約が避けて通れないと感じます。この冬から私は、マイアミ大学の先天性心臓外科で、手術を主導する立場の外科医（Attending Surgeon）として勤務する予定です。日本での臨床、シカゴでの研究、TCHでのVAD・移植経験が今回の機会につながりました。

心臓は、悪くなると命に直結する臓器です。だからこそ私たちは、人生を賭けるような気持ちで学び、理想とする外科医を目指します。ヒューストンで学んだ「総合力」と、この場所で修行できた幸運への感謝を胸に、これからも一人ひとりの患者さんにとって最善の治療を考え、実践し続けたいと思います。



次回は、MD Anderson Cancer CenterのDepartment of Surgical Oncologyにご所属の奥居潤先生です。奥居先生は外科腫瘍学をご専門とされ、がん治療の最前線で研究に携わっておられます。MD Anderson Cancer Centerという世界有数のがん専門施設でご活躍されている先生のお話を、私自身も大変楽しみにしております

子どもと日本へ帰る前に
――知っておきたい“ハーグ条約”

『子どもを連れて、しばらく日本の実家で過ごしたい』。海外での生活や家族との関係に悩んだとき、日本の家族や友人を頼りたいと思うこともあるでしょう。ただ、子どもと国境を越えて移動するときには、知っておきたいルールがあります。今回は、その一つである“ハーグ条約”をご紹介します。

日本人同士の家庭にも関係します

ハーグ条約（国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約）は、もう一方の親の同意なく、子どもを国外へ連れ出したり、元の居住国に戻さなかったりした場合に、原則として子どもを元の居住国へ戻すための国際的なルールです。

日本とアメリカはいずれも条約に参加しており、対象となる子どもは16歳未満です。親や子どもの国籍は問わないため、国際結婚だけに関係する条約ではありません。

一時帰国でも気をつけたいこと

例えば、アメリカで暮らす子どもを、もう一方の親に無断で日本へ連れて帰った場合、その親がハーグ条約に基づき、子どもをアメリカへ戻すよう求める手続を取ることがあります。一時帰国には同意があっても、合意した期間を過ぎて子どもを戻さない場合も同様です。

ただし、同意がないだけで自動的に返還が決まるわけではありません。裁判になった場合には、条約の条件やそれぞれの事情を踏まえて判断されます。また、この手続そのもので、どちらの親が親権を持つかを決めるわけではありません。

旅行への同意と、その国で暮らし続けることへの同意は別です。出発前に、もう一方の親と滞在期間や戻る予定を確認し、予定を変えるときにも改めて確認しましょう。

DVがあるときは、一人で抱えずに

DVから逃れるため、子どもと日本へ帰りたい場合もあるでしょう。外務省の“よくある質問”では、元の居住国へ戻ることで子どもの心身に重大な危険が及ぶ場合などには、裁判所が返還を命じないこともあると説明されています。ただし、DVがあれば必ず例外になるわけではありません。

身の安全に不安があるときは、安全の確保を優先し、DV被害者支援団体のAADA（エイダ）や総領事館などに相談してください。安全な避難先や、子どもとの帰国について確認しておくべきことを、支援を受けながら整理していきましょう。

詳しく知るための、最初の一歩に

外務省のホームページでは、ハーグ条約の仕組みや、一時帰国の注意点、相談先を日本語で紹介しています。まずは“よくわかる！ハーグ条約”をご覧ください。

帰国について迷っている場合は、渡航を決める前に外務省領事局ハーグ条約室へご相談ください。AADA（エイダ）でも、日本語でお話を伺い、利用できる支援や情報をご案内しています。

“まだ何も決めていない”“誰に聞けばよいか分からない”という段階でも大丈夫です。ルールと相談先を知ることが、ご自身とお子さんのこれからを守る備えになります。

詳しくは：務省リンク
ハーグ条約に関する質問
“よくわかる！ハーグ条約”
“よくある質問”

※個別のケースについては、外務省領事局ハーグ条約室またはAADA（エイダ）へご相談ください。

次回は、知っておきたい、「アメリカでの『支援につながる』ということ」についてお伝えします。

©AADAINC

AADA
ご相談お問い合わせは
AADA　宮澤明音
akane@aadainc.org

執筆： 藤原あや
AADAアウトリーチ・コーディネーター

NO.176

ヒューストン知っとん物語

BY KUMIKO



＝Houston＝お助けマップ

最新ブログ

HoustonでHalloween！

親子で楽しめる

おすすめイベント





お助けマップメンバーが交代でブログを更新中！

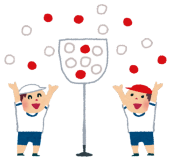


ぴーかんキッズ

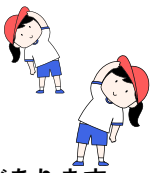
あそぼーかい

１０月のテーマは
うんどうかい

毎月いろいろなテーマで
イベントを開催しています。



開催日時や詳細は
図書館カウンターまたは
商工会HPまで



※やむを得ず、急な中止や予定変更になる場合があります。
その際はヒューストンなび 等でお知らせいたします。

※あそぼーかいではボランティアスタッフを募集しています。
興味のある方はお気軽にスタッフまで。
（pecan.asobo@gmail.com）

EVENT INFORMATION

Houston Walker

イベント情報

■ Oct. 21

HOUSTON ROCKETS @ TOYOTA Center

NBAシーズンがスタート。ヒューストン・ロケッツはプレシーズンマッチで10月9日と10日、NBA China Gamesとして中国のマカオでダラス・マーヴェリックスと対戦。10月21日にレギュラーシーズン初戦をホームでスタートします。

■ Oct. 22 - 25

FREDERICKSBURG FOOD & WINE FESTIVAL @Fredericksburg

テキサスワイン生産地・ヒルカントリーでは収穫の季節を迎えています。フレデリクスバーグはドイツ村としても知られ、街をあげてフード＆ワインフェスティバルが開かれます。Texas Wine Month Passportを取得すると10月中に45以上の参加ワイナリーで無料テイスティングを楽しむことができます。

■ Oct. 24

Fall Festival @ Trinity Baptist of Katy

こちらのケイティの教会では秋フェスティバルが開催されます。フェイスペイント、バウンスハウス、ヘイライドなど、家族向けのアクティビティがたくさん。トリック・オア・トリートならぬ、車の荷台でキャンディを配るトランク・オア・トリートも開催されます。





■ Oct. 25

Trunk or Treat & Fall Festival@ Chapelwood United Methodist Church

スプリングブランチの教会にて開催されるTrunk or Treat ＆秋のフェスティバル、子供向けゲームやバウンスハウスも登場します。こちらもお出かけ前には教会HPで最新の情報をご確認ください。

■ Oct. 31 & Nov. 1

Día de los Muertos @ MECA

メキシコでは大切な祝日として祝われている「死者の日」。ヒューストンで長く続くこちらのイベントでは祭壇の展示や子供向けの体験アクティビティ、ステージでのパフォーマンスを楽しむことができます。10月24日にはHidalgo Parkにてイベントやパレードが行われます。

■ Nov. 12 - 15

International Quilt Festival@ George Brown Convention Center

世界から毎年4万人以上が訪れるというキルトフェスティバル。キルトコンテストや有名作家の作品など1200点もの展示が行われます。フェスティバルに合わせて様々なキルトクラスも開催されます。

■ Nov. 12 - 15

Houston Ballet Nutcracker Market@ Reliant Center

ホリデーシーズンの始まりを告げる”くるみ割り人形”マーケット、280もの出店がReliant Centerに集結。購入金額の11%がヒューストン・バレエ団に寄付されるチャリティーマーケットです。サンクスギビングやクリスマスのギフトショッピングにも最適ですよ。

※内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。(ファーガソンステガー 仁美)

編集後記

暑さも少し和らいで、やっと秋になりました。秋と言えば、「〇〇の秋」。私が一番に思い浮かべたのは「食欲の秋」。一年中買えるようになりましたが、ぶどうがおいしい季節です。

甘いぶどうといえば「コットンキャンディ」が人気ですが、ここ1~2年、私がよく買うようになったのが「ガムドロップ」です。見た目は普通の紫色のぶどうなのですが、食べてみるとびっくりするほど甘いんです！まだ試したことがない方には、おすすめしたいぶどうです。見かけたらぜひ味わってみてください。また、皆さまおすすめのアメリカで買える秋の味覚もあればぜひお聞かせください。

これからも『ガルフストリーム』は、ヒューストン日本商工会の会報誌として、商工会の活動報告をはじめ、ビジネスや生活に役立つ情報をお届けしてまいります。多くの皆さまに『ガルフストリーム』をより身近に感じていただけるよう、アンケートへのご協力やご寄稿をお願いすることもあるかと存じます。その際にはぜひご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局　芝野麻里子)

ガルフストリームは毎月１５日発行です。
編集委員および投稿募集中！
問い合わせ先： sansuikai@jbahouston.org
ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。
https://www.jbahoustongulfstream.com/

発 行 ： ヒューストン日本商工会
発行責任者 ： 浅野 健一
編集委員長 ： 伊藤 義治
構成・編集 ： ガルフストリーム編集委員一同

免責事項
掲載情報の正確性・安全性は保証しません。内容は更新等により変更・陳腐化する場合があります。掲載内容およびリンク先の利用に伴う損害について、当会は一切責任を負いません。リンク先は各運営者の責任であり、利用は自己責任でお願いします。
著作権等
本ニュースレターおよび記事の知的財産権は、ヒューストン日本商工会（JBAH）または各執筆者に帰属します。権利者の書面許諾なく複製・配布・送信等を禁じます。許諾は JBAH info@jbahouston.org までご連絡ください。© 2025 Japan Business Association of Houston. All rights reserved.